

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5~14日目	第15日目	第16~28日目	第29日目
治療内容									
検査	採血	○							○
診療	副作用の問診	○							○
	検査結果	○							○
治療中止基準	①WBC 3000未満 ②血小板 10万未満 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上	-	-	-	-	-	-	-	-
内服薬	TS-1初回基準量 1.25m2未満: 40mg/回 1.25m2以上1.5m2未満: 50mg/回 1.5m2以上: 60mg/回 【2週投与2週休薬】	↓ 夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝食後	休	↓ 夕食後
	デカドロン錠(0.5)10錠分の朝 尿		↓	↓	↓				
点滴	①生理食塩液 100ml +アロカリス 235mg 1V +パロノセトロン 0.75mg 1V +デキサート 3.3mg 2A 点滴静注【30分】	↓							↓
	②KN1号 500ml +アスパラK10mEq 10ml +硫酸マグネシウム 8ml 点滴静注【1時間】②'と同時	↓							↓
	②'生理食塩液 250ml +ドセタキセル 40mg/m2 点滴静注【2時間】 ②と同時に側管から	↓							↓
	③KN1号 500ml 点滴静注【1時間】	↓							↓
	④生理食塩液 500ml +シスプラチン注 60mg/m2 点滴静注【2時間】	↓							↓
	⑤マンニトールS 300ml 点滴静注【30分】	↓							↓
	⑥KN1号 500ml +アスパラK10mEq 10ml 点滴静注【1時間】	↓							↓
⑦KN1号 500ml 点滴静注【1時間】	↓							↓	

**看護のPoint!!** ドセタキセル投与中に過敏症状が起こることがあるので、投与終了までは、患者の状態を十分に観察すること。

腎障害予防のため、水分摂取を行ってもらうことと、利尿の確保。尿側するかどうか指示確認。

硫酸マグネシウムは腎障害予防のため。投与時間はどれも多少前後しても大丈夫

吐き気強いので、アロカリス+パロノセトロン+デキサートのフルセット! TS-1は食後服用したほうが、抗腫瘍効果がある。

TS-1で口内炎、下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告(TS-1との相互作用あり)

ドセタキセルは血管外漏出すると大変!! 点滴中は漏れてないか確認。万が一もれていたら一旦中止して先生を呼ぶ

患部を冷やす。クロバタソールフロピオン酸エステル軟膏(強力なステロイド軟膏)を塗る  
副作用は、脱毛、骨髄抑制、浮腫が起こりやすい。ドセタキセルの投与時間は1時間以上書!

2~3日目の輸液がなくなり、  
デカドロンの内服は3日間へ

2017.3